

## 会議録

- 議事内容 2023年度 10月定例教育委員会
- 日時 令和5年10月17日(火) 13:30~16:00
- 場所 4階会議室4-1
- 出席者 教育長 小西 博泰  
教育委員 河嶋栄里子・藤本真理・養父雄一・石原友紀  
学術政策員 陰山 茂  
事務局 入江教育管理部長・藤井教育指導部長  
松田教育総務課長・市橋いきいき社会創造課長  
竹内スポーツ振興課長・教育総務課 澤谷

### ■ [会議の内容]

- 1 開会あいさつ  
・教育長
- 2 前回議事録確認  
・全委員一致で承認

### 3 協議事項

☆今月の議論のテーマ:「令和6年度主要事業」について

### ■ [学校教育課関連]

#### ①教育DX推進事業

- ・児童生徒の教育環境のDXは進んできたが、先生の業務に関する部分の教育DXは全国的に進んでいない。その背景をもとに小野市では、実情に合った教育現場の教育DXを進めたいと考えている。
- ・1つ目に、校務用パソコンにリモートワークができるシステムを導入したい。先生方は家でも仕事をしており、データのやり取りにはUSBを使っているが、それによるウイルス感染を防ぐためにリモートワークを進める。また、小野市の教職員の8割が子育て世代と介護世代であり、リモートワークを実現することで、ワークライフバランスや、多様な働き方に対応していきたい。
- ・2つ目は、デジタル採点システムの導入。中学校で試験的に導入しており、採点時間が減少したというデータが出ている。その他にも採点ミスの減少、チームで採点が可能ということや、採点後すぐにデータ化できるので、個に応じた指導にすぐ反映できる等、仕事の効率化ができると考えている。

#### ②幼稚園教育研究推進事業

- ・最近、特別支援を必要とする子どもや外国籍を持つ子どもの入園希望が多い。そ

ういった子どものセーフティネットとしての幼稚園という立場で、特別支援・多文化共生への対応のために、おの幼稚園では指導員を2名配置したい。また、一時預かりも始まるので、それらにも複合的に対応できると考えている。

### ③脳科学研究事業

- ・川島隆太講演会の前日に教職員向けの研修会を実施する。また、東北大学の榊助教が脱スマホプログラムを開発されており、三重県の学校で取り入れたところ非常に効果があったと聞いている。川島教授の講演と同時にその説明も聞こうと考えている。小野市でも、小中学生のスマートフォンの所持率はほぼ100%近くになっており、喫緊の課題である。来年度は脱スマホプログラムを取り入れて、スマホ依存に陥らない仕組み作りをしていきたい。
- ・AIと教育の関係について、子どもたちにとって本当に良いものなのか、川島教授の助言をもらいながら研究を進めていく。

### ④働き方改革推進事業

- ・スクール・サポート・スタッフの配置について、現在、大規模校は1校1名、中規模校と小規模校については2校1名配置となっている。これを学校規模に関係なく、1校1名配置にしたいと考えている。
- ・業務改善を進めるために、本当に必要な時間帯はどこか、必要な業務は何かということを絞り、効果的に業務改善が図られるような配置にしたい。

### ⑤不登校問題等対策事業

- ・中学校に不登校生対応として校内支援センターを設置したい。別室での指導は、現在も空き教室を使って行われているが、新たに校内支援センターを設置し、不登校対策指導員1名の配置を考えている。不登校担当の先生と不登校対策指導員で連携をとりながら、校内支援センターの運営に当たっていきたい。
- ・特にアウトリーチ（訪問）型支援に力を入れていきたいと考えている。今も行っているが、不登校担当の先生だけでは厳しいところがあるので、不登校対策指導員を配置することで、家庭訪問する時間を増やせると考えている。どこにも繋がっていない、どこにも繋がらない児童生徒へのアプローチというのは今後必要だと考えているので、アウトリーチ型支援でフォローしていきたい。

### ⑥GIGAスクールプロジェクト推進事業

- ・60代の先生方のGIGAスクールに対するスキルアップが課題になっている。誰でも使えることを目指し、60代の先生方にも使える技術をつけるために、来年度もGIGAスクールサポーターの配置を進めたい。
- ・令和8年度にChromebookのOSの自動更新の期限がきて、端末更新をすること

になる。その準備を令和6年度から7年度にかけて進めていきたい。

- ・現在、AIデジタルドリルというものが流行っている。小野市では導入していないが、それが本当に子どもたちにとって良いものか研究を進め、更新の際にどういったアプリを入れるべきか、端末選択とあわせて進めていきたい。

#### ■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q:学校のお金をLINE等を通じて集金することで手間がかからなくなると思うが、延滞された方への通知等の作業が必要になるのではないか。それを考えても効率化されるということか。(教育委員)

A:未払いの保護者については自動的に通知されるようになっている。ただし何度通知しても支払いがない場合は、今と同じように学校から支払うよう通知する必要がある。それは他の方法にしても同じだが、それまでの手順は自動化できる。(事務局)

Q:学校にお金持ってこないというだけでもメリットがあるということですね。(教育委員)

A:その通り。あつてはならないことだが先生方が預かり、そのお金を使ってしまったというような事件も他の自治体で起きている。LINE等で集金することでそのリスクもゼロにできる。保護者にとっても支払い方法が選べるのは一つの魅力になっているようだ。(事務局)

Q:川島隆太講演会の前日に教職員向けの研修会があるということだが、それは全員が聞くことができるのか。(教育委員)

A:全職員が対象である。エクラホールで講演していただく。(事務局)

Q:実際に、先生方と川島教授がお会いされることは良いことだと考える。ただ、今の時代なので、ライブ配信を行って各学校で見るという形式もできたのではないか。(教育委員)

A:対面で講演を聞くことが大事なので、リモートではなく実際に会場で聞く形にしている。(事務局)

Q:幼稚園の在り方というところで、子どもが減っていく中で、様々なことを考えていくことが大切だと考える。現在、先生が足りていない状態だが、おの幼稚園になったときに先生の人員変更はないのか。今の2園の先生方がおの幼稚園に行くということで良いか。(教育委員)

A:今の段階ではまだ決まっていないが、できれば同じ人数でいきたい。また、3歳児の教室が増えるので、その分先生が必要になる。そのことも含めて、新しい体制で必要な人員を要求したいと考えている。(事務局)

A:外国籍の保護者の中には日本語があまり使えず働くことができないことから

保育園に行けずに幼稚園にくるといふ人もいる。ただ、共働きの外国籍の保護者も多いので、そこをうまく見極めてサポートしてほしい。(教育委員)

**Q: スクール・サポート・スタッフについて、やはりサポートが入ることによって、先生方の負担はずいぶん違うのか。(教育委員)**

A: 学校からは非常に助かると聞いている。印刷をしてもらえたり、給食の準備で人手が足りていないところを助けていただいたり、最近では教室の掲示物を貼っていただいたり等、今まで以上に支援の幅が広がり、学校側も柔軟に対応できるようになってきている。所謂、先生の聖域と言われている部分をスクール・サポート・スタッフにさせていただくことで、先生方のゆとりが生まれている。(事務局)

A: ゆとりが生まれたことで、子どもたちと対面する時間が増えたり、心のゆとりにも繋がっているということですね。(教育委員)

**Q: 不登校やいじめの問題等いろいろなことがあるが、それらを考えていく上で、一つは福祉との連携が非常に大切であり、小野市も新しくこどもサポートセンターを作られているので、福祉との連携の部分をもっと強調して欲しい。もう一つは、不登校対策や安心安全な学校をつくるために外部の声も必要だと考える。教師の意識改革や学校の雰囲気全体を変えるためには、外部の方に顧問として入っていただき、小野市の教育全体を違う面で見てもらって、そこから対策を練っていくということも必要なのではないか。(教育委員)**

A: 福祉との連携については、小野市独自のいじめ共有システムとして、4号報告という市民安全部や市長まで情報共有するようなシステムがあり、問題行動やDV等はケース会議ということで、市民福祉部、市民安全部、学校教育課で連携して対応している。ケースの数も非常に多いが、見つけたらすぐ対応できるよう、こども家庭センターや警察も含めたシステムは既にできている。今後も、市長まですぐ報告するシステムをより充実させていくことが必要だと考える。それから、外部人材についてはその通りで、コロナ禍もあって不登校がクローズアップされたり、実際に不登校の数も増えているので、どう分析していくかという課題と、増えてしまったことにどう対応するか、外部識者の意見に耳を傾けることも必要と考える。(事務局)

A: 社会福祉との連携については、特別支援の部分でいうと、令和元年度から『トライアングルプロジェクト』を進めており、放課後デイサービスとの連携は、各学校でかなり進んでいる。また、いじめや自死の問題といった案件は、社会福祉課、子育て支援課、市民安全部と学校教育課で常に情報共有し、どう対応するか協議を行っている。また、こども家庭センターや警察へ要請するか等の判断をして、学校も含めながら対応を進めている。それから、不登校について

の顧問はいないが、医療関係者から話を聞き、情報を得ながら進めている。様々な方法があるので、子どもたちの状況や小野市の状況を見ながら必要な情報を集めていきたい。(事務局)

A:『トライアングルプロジェクト』というのは、学校と家庭と福祉の三つが協力して、情報共有しながら適切な支援を行おうというプロジェクトであり、小野市が県下で一番初めに取り組んでいる。例えば、支援シートというものを作り、それを幼稚園から小学校、小学校から中学校、支援が必要な子どもは高等学校にも共有するようにしている。それから、安全安心な学校ということで、各校の抱えている課題が微妙に違っているので、外部の指導者等は各校でそれぞれ呼んでいる。先ほどおっしゃったのは、小野市全体で統括した顧問が必要ということで、例えば、小野市全体の安全安心を警察が確認しアドバイスをいただくというようなことか。(教育長)

A:そこまでのことは考えていないが、常にアドバイスが受けられるような人が必要だと考える。(教育委員)

A:もし市全体を統括した顧問が必要ということであれば、必要に応じて検討したり、体制作りをしていく必要があるのでは、これは一旦預かりたい。(教育長)

Q:不登校の問題等、先生が時間を取られることがありながら、働き方改革についても考えなければいけないので、どう折り合いをつけていくのか難しいところだと考える。(教育委員)

A:本来教師がすべきことを業務改善してしまうようなこともあり、本当に難しい。ただ、不登校の対応は必要であり、それを業務改善の名のもと少なくしてしまうのは、ありえないことだと考える。何が必要な仕事で、何がそうでない仕事かという本質的なところからよく見直し、子どもを中心に据えた議論をしていかなければならない。(事務局)

Q:不登校について外部の方をと言われていたのは、視野が狭くなってしまいがちなので、客観視するために必要ではないかということですね。(教育委員)

A:押しすぎてばかりでは駄目な時期もあって、子どもたちの様子を見守るときも必要。周囲の人が一生懸命になっているとそのタイミングがわからなくなってしまうことがある。そういった意味では、相談してアドバイスをもらうことで先生方の視野が広がることもよくあるので、アドバイスをもらえる方がいるというのは重要だと考えている。(事務局)

Q:産業医について、今まではいなかったということか。これは先生方のメンタル面のサポートをしてくれるということなのか。(教育委員)

A:産業医がサポートできるようになったため、助かる先生もいるのではないかと考えている。(事務局)

- ・小野市内の先生方は不登校対応や保護者対応等熱心にされている。先生方の置かれている環境は以前と本当に変わっており、だからこそ、教育委員会としてサポートできる体制を組んだり、地域の方や専門家にサポートしていただく体制作りをするため主要事業としている。(教育長)
- 

## ■〔教育総務課関連〕

### ①旭丘中学校長寿命化改良整備事業

- ・仮設校舎が8月に完成し、2学期から仮設校舎で授業を開始している。9月から長寿命化工事に着手しており、来年の11月には新しい校舎が完成する予定。
- ・体育館については、延べ床面積が現在の基準より小さいという状況であり、建替できないかということで進めていた。文科省への協議や、耐力度調査を実施した結果、建替で補助金が付くことが決まったので、建替の方向で進めていく。空調設備についてもあわせて検討を進めていく。
- ・仮設校舎での生活が来年の2学期まで続き、その間に校舎の改修工事を進める。冬休みを利用して引越しを行い、3学期からは新校舎供用開始となる。その後、体育館の設計と工事を進めていく。

### ②おの幼稚園整備事業

- ・令和5年度末まで実施設計を行い、来年度は工事に着手する。1階に保育室が6部屋と職員室があり、2階には遊戯室と、預かり保育のための部屋がある。園の規模は、3歳児・4歳児・5歳児それぞれ2クラスずつ見込んでおり、合計で110名の募集人員となる。
- ・わか松幼稚園は来年度に工事に入るので、令和6年度と7年度は小野東幼稚園で園生活を送る。その2年間におの幼稚園の建築工事を進め、令和8年度には新しい幼稚園を開園する予定で進めている。
- ・新たな取り組みとして、令和6年度から預かり保育を開始する予定。園歌・園章・制服等についても、令和6年度中には決定する予定。

### ③学校施設バリアフリー化整備事業

- ・小野小のエレベーターの設置、階段昇降車整備については今年度予算で設計を進めており、来年度に工事を進める予定。令和7年度以降は要配慮児童がいる学校を優先して、順次エレベーター設置工事を進めていく。

### ④学校空調設備更新事業

- ・学校の普通教室のエアコンについて、平成23年に導入してから10年が経ち、修繕の費用も増えてきているので、順次更新する。今年度、河合小学校と市場小

学校の設計に着手しており、来年度はその2校の空調の更新工事に着手していく。以降順番に整備を進めていく。

#### ⑤学校体育館空調設備整備事業

- ・体育館は災害時に主な避難先となること、また避難所における熱中症対策として体育館への空調設備の設置を進める必要があるということで、文科省から通知があった。国も体育館へのエアコン設置を促進するために令和7年度まで補助率を従来3分の1から、2分の1に引き上げている。こうした状況を受けて、小野市でも体育館への空調設備の設置を進める。
- ・整備内容について、空調の設置とあわせて空調を効率よく効かせるための断熱性の確保工事が補助を受ける上で必須となっている。来年度は旭丘中学校の体育館の空調設備の設計を予定しており、令和7年度以降に体育館の工事に入ると同時に、中学校を優先して設計業務、あるいは工事に順次入っていく予定。

#### ⑥インターフォン整備事業

- ・児童生徒のアナフィラキシー発生時や教室への不審者侵入時に、教室からすぐに職員室や警察等の関係機関に通報ができるように、インターフォンがない学校についてインターフォンを設置する。

#### ⑦小野小学校照明LED化事業

- ・令和4年度の定期検査において、小野小学校の教室の照度が十分ではないという指摘があったため、照明を蛍光灯からLED化する。

---

### ■【いきいき社会創造課関連】

#### ①上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」開催事業

- ・詩歌文学賞の選考委員である宇多喜代子先生が今年度をもって退任され、令和6年度から高野ムツオ先生が選考委員となる。
- ・令和6年度は6月8日に開催する。鼎談については、今年度行う予定だった上田三四二生誕100年記念にまつわる鼎談を行いたいと考えている。
- ・今年度、大雨の関係で対応に苦労したので、荒天時の対応を整理し、資料を作成した。今後、同じようなことが起こった場合は、それをもとに対策していきたい。

#### ②小野市美術展開催事業

- ・現在、伝統産業会館で美術展を開催しているが、開催場所を伝統産業会館からうるおい交流館エクラに移したい。伝統産業会館は、駐車場から会場まで道路を渡る必要があり、エレベーターがないのでバリアフリーの面でも好ましくない、それから照明に問題があり作品を綺麗に見ることができない。エクラで開催すれ

ばそれらの課題は解消できると考える。それに伴い、エクラは有料なので出品料として500円を徴収しようと考えている。

- ・表彰式を11月に開催する芸能フェスティバルの中で同時に行うことを考えている。時期が1ヶ月ずれるような形にはなるが、芸能フェスティバルの中で行うことでそこに来られている方の集客も見込めると考えている。

### ③未来を創る図書館整備事業

- ・図書館システムの機器の更新が令和6年11月に迫っており、システムを更新する必要がある。それに伴い、図書館アプリを導入しようと考えている。アプリを導入することで、スマホで本の予約や読んだ本を管理できたり、スマホに表示されたバーコードで本を借りることができる等、様々なメリットがある。
- ・現在、ホームページビルダーという形式でホームページを作成しているが、これをCMSという形式に変えることで、職員の手間が軽減されると考えている。

### ④小野市文化財保存活用地域計画作成事業

- ・令和5年度に計画を作成し、現在文化庁の審査を受けている。令和6年度については、広く市民の方に知ってもらうために講演会を開催する。それから、関係機関に配布するための冊子を作成しようと考えている。

### ⑤浄土寺防災施設工事補助事業

- ・浄土寺で消防設備の更新が必要であり、内容としては、消火栓の設置や避雷針の設置を行う。これについては国の補助が85%、残りの15%を県と市と浄土寺でそれぞれ5%ずつ負担する事業となっている。令和4年度から6年度までの事業であり、今年度も工事を予定している。

### ⑥金鐘城遺跡広場改修事業

- ・20年以上経過しており、老朽化が進んでいる。特に橋の老朽化や、周囲のがけ崩れが起こっているため、その辺りの改修工事が必要となっている。令和5年度に、まちづくり課で公園施設長寿命化の補助事業の申請を行い、基本調査を行っている。そこで、木製の橋について、傷みが激しいため取り替える必要があるという結果が出たので、6年度は詳細な調査と実施設計を行おうと考えている。7年度に取替工事を行い、8年度に周辺の柵や案内看板の工事を考えている。

---

## ■〔スポーツ振興課関連〕

### ①総合体育館整備事業（本館屋根改修）

- ・平成4年にアルゴが完成し30年以上経っている。また、平成21年に屋根の遮熱塗装を行ったが、耐用年数の10年に対し14年が経っているという状況で



- あり、今年の5月から雨漏りが顕著だということから、屋根の改修を行いたい。
- ・雨漏りも一か所だけではなく、抜本的に改善するためには、全体の改修が必要である。カバー工法という、今の屋根に屋根材をかぶせる方法であれば、安価であり、休館をする必要もないため、この方法で行いたい。

#### ②総合体育館整備事業（体育室棟（旧館）耐震改修等）

- ・体育室棟について、耐震化ができていないという状況である。1日当たり約70人が利用していることもあり、緊急防災・減災事業債という起債を使って改修したいと考えている。併せて、空調とトイレの改修も行いたい。

#### ③匠台公園体育館長寿命化事業

- ・アクトについて、平成11年に完成し、既に築24年が経過しており、傷みが出てきている状況である。建物の外壁のクラックや、フロアも傷んでおり、特に照明に関してはLED化が必須というような形になっている。長期的に修繕しなければ施設自体が長期間維持できないので、計画的に改修していきたい。

#### ④FCバサラ兵庫パートナーシップ連携事業

- ・FCバサラ兵庫というサッカーチームがあり、兵庫県と連携協定を結ぶと聞いている。現在あまり練習場所がないということもあり、よくアレオを使っておられる状況である。そこで、兵庫県と連携しており、北播磨の拠点として小野市のアレオを利用させてほしいという申し出もあったことから、パートナーシップ連携協定を締結したいと考える。アレオを好条件で使用する代わりに、小野市のPRや子ども向けのサッカー教室、講演会等をしていただくことを見据えながら、連携を組み、協力していきたい。

#### ⑤小野希望の丘陸上競技場（アレオ）臨時駐車場等整備事業

- ・アレオで大会を開催するにあたり、大規模な大会については駐車場が足りず、開催できないという状況であるため、臨時駐車場を整備したい。合わせてトイレを増設したいと考えている。浄谷黒川丘陵地の全体構想を見据えて、総合政策部とも協議しながら、検討を進めていく。

#### ⑥小野市中学校部活動指導員配置事業

- ・教員の働き方改革の一環として、部活動の地域移行を進めようという国の方針が出ており、部活動指導員配置事業という補助事業があるので、これを活用していく。それに向けて、部活動地域移行の在り方検討委員会を立ち上げている。
- ・現在、外部指導員が7人おりボランティアという形でいただいているが、補助事業を活用するには市が直接雇用するという要件があるので、会計年度任用

職員として市で直接雇用する。子どもたちが部活動に積極的に取り組めるような体制作り、あわせて教員の働き方改革にも資するような形で、新しく事業を展開していきたい。

■【説明事項に対する教育委員会からの照会及び意見】

Q: 体育館の空調について、体育館の部活動でも熱中症になるとよく聞く。温度が外と変わらない、かえって蒸れる分体調不良になると先生方から聞くので、実現すれば部活動で使う子たちの体調管理にすごく良いと考える。ただ、補助率の引き上げが7年度までということで、そうすると旭丘中学校しか対象に入らないが、やはりそれ以降は補助率の引き上げは適用されないのか。(教育委員)

A: その通り。ただ、補助が延長されるのではないかと見込んでいる。部活動があるので中学校を優先的に進めていくが、最近9月以降も暑いことが多いので、通常の体育の授業のことも含めて整備を進めていきたい。(事務局)

Q: 体育館の空調というのは基本的にどんな形のものなのか。また、涼しくなったり暖くなるまで時間がかかるのではないか。(教育委員)

A: 様々なタイプがあるが、基本的に複数基設置して冷やす。多くは壁置き型を設置しており、その他にも工場のダクトのような形のものや、下から吹き出す形のものもあるが、下からの場合はバドミントン等の競技がやりにくいという問題がある。一番大きな選択として、ガスヒーポンか電気式のヒートポンプのどちらにするかというのが非常に難しい。以前は、ガスヒーポンは導入するときのコストは高いがランニングコストは安いと言われていたが、今はあまり変わらないので、電気の方が多いように感じる。それから、体育館を冷やすのに大体20分から1時間かかる。通常のエアコンと同じで入り切りを頻繁にすると余計に電気代がかかるので、どれぐらい授業の間隔が開くときは付けたままの方がいいのか、この辺りは一度先進市に勉強に行こうという話が出ている。(事務局)

A: まだ寒いときに卒業式や入学式があるので空調があれば快適なのではないか。また、夏の暑さ対策もできるので安全性を考えたらぜひ整備してほしい。(教育委員)

Q: 河合中学校の長寿命化に関して、現在どのような状況にあるのか教えてほしい。(教育委員)

A: 来年度どのような改修工事で進めていくか、3パターンほど考え、それぞれ補助事業や財源、どのような形での教育が一番良いのかというシミュレーションを行う。それから、地元説明等も行い、案が固まってから設計の予算を要求して工事に入るという流れになる。旭丘中学校が来年の11月で校舎の工事が終わり、体育館の工事に入るので、それが終わり次第、引き続き河合中学校の工

事に着手できるように予定している。(事務局)

Q:資料の中に河合歴史街道というものがあるが、こういったものは他の地区にもあるのか。浄土寺や広渡廃寺等、小野市全体に城はあるので、観光や健康作りに結びつくようなことが小野市全体でできたら良いのではないか。(教育委員)

A:観光課も考えているし、これだけの歴史資産を何か活用できないか色々と構想を作ったがなかなかうまくいっていない。(事務局)

Q:金鐘城遺跡広場について、素敵なところだと思うので何かもっとイベント等を開催したらいいのではないか。(教育委員)

A:金鐘城は夏場であればマムシが出る等、そういった危険性があり、それから市長からも言われているが、金鐘城だけでなく、かわい快適の森と夢の森公園の3つをどうするかという視点で考えていく必要がある。(事務局)

Q:美術展について、開催場所を伝統産業会館からエクラの市民交流ホールに移動するということが良いことだが、現在使われているパネルがかなり重いので、もっと苦なく運べるようなパネルに交換できないのか。(教育委員)

A:エクラで開催することになれば、エクラの方でパネルを設置してもらえるので、それについては楽になると考えられる。(事務局)

A:参加者も高齢化しているので、若い人にも広くPRしてほしい。(教育委員)

Q:パソコンで描いた絵等では応募できないのか。(教育委員)

A:特にそういった決まりはない。(事務局)

Q:アレオの臨時駐車場について、先日の陸上競技大会を見学したときに、下の砂利のところで、駐車区画の線が引いてなかったこともあり入口をふさいでしまっていて出られないという状況があったので、線を引いてほしい。(教育委員)

A:駐車場整備については、クリーンセンターの構想のこともあって、総合的に考えていくとなると時間がかかると考えられる。(事務局)

Q:中学校の部活動指導員配置事業は駐車場整備事業に比べて実現する可能性高いものと考えてよいか。(教育委員)

A:補助事業にあげることや、国の方針もあるので、取り組んでいく必要があると考えている。(事務局)

Q:現在、外部指導員が7名いるとのことだが、どの部活動に来られているのか。(教育委員)

A:柔道部に4名、サッカー部と卓球部と陸上部にそれぞれ1名来られている。(事務局)

Q:それは中学校から申し入れしているのか。(教育委員)

A:来られている方の中には教員のOBもいれば、そうでない方もおり、柔道とサッカーは協会の方が、陸上は卒業生が来てくれている。(事務局)

A:現在7名がボランティアという形で来られていて、子どもたちに教えたい、子どもたちもその人たちに教わりたいという雰囲気作りといったものは大事にしていきたい。(教育長)

---

#### 4 報告事項

- ・令和5年度主要事業の進捗状況の説明及び教育委員からの意見聴取

#### ■【学校教育課関連】

##### ①第Ⅲ期教育振興計画の具現化【教育課程管理】

(進捗状況)

- ・全国学力・学習状況調査結果について、市教委分析の結果が完成した。各校への配布、それからHP等で公開する準備を進める。
- ・9月30日に英語検定をコミセンおので実施した。小野市小中学生43名が受験した。
- ・自然学校、修学旅行の後半が進んでいる。修学旅行は全て無事に終了した。自然学校は残り11月に実施する一校のみ。

(今後の予定)

- ・11月1日に第20回川島隆太教授講演会を開催する。冒頭で20周年記念VTRを放映。
- ・教育支援委員会の答申について、現段階ではほぼ保護者の同意が得られており、答申通りの就学先になる予定。

##### ②「チーム学校」を踏まえた学校組織マネジメントの強化とリスクマネジメント【危機管理】

(進捗状況)

- ・『報・連・相』及び『4号報告(いじめ・問題行動等)』で報告
- ・修学旅行及び自然学校での感染症対策の整理について、令和6年度に向けてどうするか、今後検討していく。

##### ③人材育成と働き方改革【人的管理】

(進捗管理)

- ・臨時講師不足・教員不足について、来年度も非常に厳しい状況は変わらないので、各市町と情報共有しながら人員を確保し、欠員が出ないように進めていく。

- ・夢と希望の教育推進委員会にて、働き方改革の協議を行った。その中でテレワークについて議論したが、多様な働き方が選択できるというように捉えられていることが多く、非常に好意的だった。
- ・校長面談を行い、各学校の実情について聞き取りを行っている。

#### ④学校教育課情報

##### 1 市の取組予定

- ・ 8月16・23・29・30日 教育支援委員会にかかる「教育相談」
- ・ 9月13・19・25・27日 教育支援委員会⇒答申⇒学級編制
- ・ 9月30日 英語検定 準会場で開催（市内小・中学生向け）
- ・ 10月 5日 夢と希望の教育推進委員会（業務改善・家庭学習）
- ・ 10月中旬 校長面談（方針管理・進捗状況）
- ・ 10月中旬 全国学力・学習状況調査 分析結果公表リーフレット配布
- ・ 10月30日 川島隆太教授による教職員向け研修会 開催予定
- ・ 11月 1日 第20回川島隆太教授講演会（体験型講演会Ⅺ）

##### 【議会行政視察対応】

<10月 4件予定>

結城市（茨城県）、人吉市（熊本県）、黒石市（青森県）、小郡市（福岡県）

<11月 7件予定>

雄勝郡羽後町（秋田県）、米子市（鳥取県）、栃波市（富山県）

尾花沢市（山形県）、嘉麻市（福岡県）、野々市（石川県）

駒ヶ根市（長野県）

##### 2 学校の取組

○小・中・特別支援学校 修学旅行（コロナの感染状況を随時確認）

- ・ 9月 5日（火）～ 9月 7日（木）：河合中 東京方面
- ・ 9月14日（木）～ 9月15日（金）：河合小 奈良・京都方面
- ・ 10月 3日（火）～10月 4日（水）：市場小・下東条小  
奈良・京都方面
- ・ 10月 4日（水）～10月 5日（木）：小野東小 奈良・京都方面
- ・ 10月10日（火）～10月11日（水）：来住小・大部小  
奈良・京都方面
- ・ 10月11日（水）～10月12日（木）：小野小・中番小  
奈良・京都方面

○小学校自然学校（コロナの感染状況を随時確認）

- ・ 8月28日（月）～ 9月 1日（金）：小野東小（南但馬）
- ・ 9月11日（月）～ 9月15日（金）：中番小・下東条小（南但馬）

- 市場小（嬉野台）
- ・ 9月25日（月）～ 9月29日（金）：小野小（嬉野台）  
来住小（国立淡路）
- ・ 10月 2日（月）～10月 6日（金）：大部小（嬉野台）
- ・ 11月13日（月）～11月17日（金）：河合小（南但馬）

### 3 学校の状況等

○9月の4号報告6件（いじめ）

○9月の不登校の状況

- ・小学校13名（前年10名）
- ・中学校74名（前年53名） 合計87名（前年63名）
- ・4号報告について、重大事案はなかった。全て軽微なもので済んでおり、学校の中で解決に至っている。
- ・不登校の状況としては、全国傾向と同じように増加している。解決に向けて、来年度の主要事業で提案したことを考えていきたい。それから、広く視野が取れるように何かアドバイスを頂けるような方を探していきたい。現在も、こちらの医療センターの先生に話を聞き、アドバイスを受けているが、全体的なことについてアドバイスを受けるので、学校ごとのアドバイスも受けられると、学校もより具体的な方法がとれるのではないかと考える。

#### ■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：英語検定が何年か前から小野市内で開催されているということで、受検する子どもの数が少ないように感じるが、これは何か制限をかけたのか。（教育委員）

A：特に制限はしていない。まだ受け入れられる人数に空きがあるので、受験を呼び掛けていきたい。（事務局）

Q：受験料は全額保護者負担なのか。（教育委員）

A：その通り。（事務局）

Q：受験生はこの級の有無が内申に関係してくるので、中学生が集中して受験するのではないか。（教育委員）

A：それもあるが、今年は小学生が受験している等、単に受験のためというよりも、力試しといった雰囲気もあるように感じる。（事務局）

Q：いじめについて9月の報告が6件あったとのことだが、小学校と中学校でそれぞれ何件くらいなのか。（教育委員）

A：およそ半分ずつである。軽微なものが多く、先生方の見つける目というのめかなり鋭くなってきており早期発見できているので、大事には至っていないという現状である。（事務局）

Q:どの時点で解決したとするのかは、先生方が判断するということなのか。(教育委員)

A:お互いの子どもたちの和解がきちんと進んでいる、保護者もお互い理解ができているといった状況で、今のところは大丈夫だろうと判断する。ただ、それで観察をやめてしまうのではなく、その後の状態も継続的に観察しており、教育委員会にも報告いただくようにしている。(事務局)

Q:教員不足は全国に共通することだと考える。教員免許を持っているが現場を離れている方向けの研修会があると聞いたが、小野市はそういったことはしていないのか。(教育委員)

A:小野市としては単独でそういったことはしていない。県の教育委員会でそういった取組をかなり進めている。その呼びかけを聞いて、参加する人はいないか声をかけている。(事務局)

Q:実際、教員が足りていない状態なのか。(教育委員)

A:小野市は今のところ問題はない。ただ、小野市だけでなく他の市町でも、足りなくなるような状況はあるので、今後も留意する。(事務局)

Q:議会行政視察が10月と11月で合計10件あり、多くは夢と希望の教育のことで視察に来られているようだが、特に関心をもたれていると感じるのはどの事業か。(教育長)

A:脳科学をもとにした教育に興味があり、それを軸に全ての教育が関連しているところにすごく関心を持たれている。特に脳科学と関連があると思われるのがGIGAスクールの取り組みで、持ち帰りをしていないことや読み書きといったアナログの作業を大事にしているということを説明すると、脳科学で筋が通っていると言われる。それから、16か年教育や、特におの検定の取り組みについても、脳科学で1本筋が通っている教育を展開されているので非常に説得力がある、ということと言われる。(事務局)

Q:こうして小野市に来られているのは、他市から紹介されて来ているのか。それともHP等で小野市の取り組みを知り、興味があっただけで来られているのか。(教育長)

A:来られる理由の1つとして、視察のリストの中に特徴ある取り組みをしているという項目があり、そこに夢と希望の教育と、脳科学をもとにした教育ということが載っているなので、興味を持たれて来られている。(事務局)

---

## ■〔教育総務課関連〕

### ①新幼稚園整備事業

(進捗状況)

- ・現在、設計業務を進めており、進捗率は9月末で75%。3月末に設計の完成、そして来年度の工事着手に向けて進めていく。

## ②学校施設長寿命化対策事業（旭丘中学校）

（進捗状況）

- ・旭丘中学校仮設校舎賃貸借契約について、8月中旬に仮設校舎が完成したので進捗率は100%。
- ・校舎の建設工事については、9月末現在の進捗率は2%。9月から校舎の解体工事に着手しており、計画通り進んでいる。
- ・体育館について、補助適用に向けた耐力度調査を実施した。調査の結果、改築の補助適用が可能。

## ③学校施設バリアフリー化整備事業

（進捗状況）

- ・現在、小野小学校エレベーター設置工事の設計業務を進めており、進捗率は9月末現在で60%。
- ・8月31日に業者と共に学校に訪問し、現地調査結果によるバリアフリー化の施工方法の検討を行った。設計の検討を学校の先生方と進めている。

（今後の予定）

- ・地盤調査や測量を行い、来年度の工事に向けて設計を進めていく。

## ④教育総務課情報

### 1 学校施設工事等関係

○市場小学校受水槽及び消火水槽更新工事 設計・監理業務委託

令和5年5月17日入札落札 (株)小野設計 小野市上本町

令和5年5月19日～令和6年3月20日 7,700,000円

→設置後約37年が経過し、老朽化が進んでいるため更新を行う。6月30日に現地調査を実施し、受水槽の設置位置を決定。

○市場小学校受水槽及び消火水槽更新工事

令和5年9月8日入札落札 藤井設備工業(株) 小野市敷地町

令和5年9月13日～令和6年3月20日 45,760,000円

○河合小学校・市場小学校空調更新工事 設計業務委託

令和5年6月28日随意契約 (株)小野設計 姫路市

令和5年6月28日～令和6年3月20日 4,895,000円

→学校の空調は平成23年度に一斉に整備され、12年が経過し、故障等の不具合が多く、部品の生産も終了しているため修理できない状態であること



から、順次更新を行う。

○小野中学校、小野特別支援学校ポンプ更新工事

令和5年8月8日入札落札 (株)エアコンサービス 小野市菅田町

令和5年8月15日～令和6年3月15日 10,813,000円

→小野中学校上水ポンプ及び小野特別支援学校消火ポンプについて、老朽化等が進んでいるため更新を行う。

■【説明事項に対する教育委員会からの照会及び意見】

Q:昨日、旭丘中学校の仮設校舎の見学に行ったが、順調に工事が進んでいるとお聞きした。プールについて、工事の関係で、プールのろ過機のところに電気が通らないとお伺いしたが、来年度の水泳授業では学校のプールは使えるのか。  
(教育委員)

A:来年度も学校プールを使用すると学校からは聞いている。(事務局)

---

■【いきいき社会創造課関連】

①小野市文化財保存活用地域計画策定事業

(進捗状況)

- ・地域計画の素案を9月15日に文化庁に申請している。

(今後の予定)

- ・10月に文化庁修正指示箇所を修正したうえで、再度文化庁へ送付する。
- ・文化庁への認定申請を11月末頃に行う予定。

②コミュニティセンター事業(地域づくり協議会、特色ある取組み等)

(進捗状況)

- ・おの:日本の調べ 箏・尺八コンサートを9月16日に開催。来場者は120人。

第100回小野市民囲碁大会を9月23日に開催。参加者は93人。

- ・かわい:かわい歴史ウォーキングを9月23日に開催。参加者は40人

(今後の予定)

- ・おの:防災研修会を10月26日に開催する。
- ・おおべ:おおべ未来塾 古代米の稲刈り体験を10月28日に開催する。  
(田んぼアート農地・高田町地内)

③いきいき社会創造課情報

1 事業報告

[いきいき社会創造係]

- 小野市文芸大会 地域版「小野市短歌フォーラム」

日 時：9月16日（土）13：00～16：00  
場 所：小野市伝統産業会館 第1・2研修室  
選 者：小林幹也（「玲瓏」編集委員、近畿大学文芸部講師）  
応募数：188首（前回：217首）  
参加者：48名（うち投稿者31名）

〔好古館〕

○企画展「そろばん群像－神内信夫写真展－」

期 間：9月24日（日）まで  
内 容：そろばん製造に携わる人びとの写真を撮り続けている神内信夫氏の写真展示。  
会 場：小野市立好古館 2階展示室  
入館者：2,516人

○観月茶会

開催日：9月30日（土）午後5時～午後8時  
場 所：小野市立好古館 柳風園（好古館東庭園）  
参加者：165人  
その他：夜雨天予報のため屋内で開催

〔コミセン〕

○コミセンおの ふれあいまつり（コミセンおの・コミセンおの登録サークル）

日時等：9月 9日（土）13:00～16:00 作品展示  
9月10日（日） 9:00～15:00 舞台発表・作品展示  
場 所：コミセンおの  
内 容：絵画、短歌、陶芸品等の作品展示（4団体）  
民舞、詩吟、朗読、楽器演奏等の舞台発表（9団体）  
来場者数：約350人

○第18回おおべのショー（大部地区地域づくり協議会）

日 時：9月16日（土）14：00～20：30  
場 所：広渡廃寺跡歴史公園（広渡町）  
内 容：地域の保育園児、小・中学校生、ダンスチームによる踊りと音楽のステージプログラム、地元9自治会の企画によるテントブース、おおべの大鍋（芋煮のふるまい）等の様々な催し物を開催した。  
来場者数：約5,000人

## 2 今後の予定

[いきいき社会創造係]

### ○第48回小野市美術展

開催期日：10月19日（木）～22日（日）

9:00～16:00 ※最終日は12:00まで

場 所：小野市伝統産業会館 大研修室

表 彰 式：10月22日（日）14:00～

### ○市民芸能フェスティバル

日 時：令和5年11月12日（日）10:00～

場 所：うるおい交流館 エクラ

[図書館]

### ○マナーアップキャンペーン

内 容：利用マナーの向上を呼び掛けるため、「本からのSOS展」と題し、エントランスホールに汚損・破損資料を展示。期間中、カウンター前で啓発しおりを無料配布。

期 間：10月1日（日）～10月31日（火）

### ○「利用者が選んだ一番おすすめの本 2023」

内 容：令和4年10月1日～令和5年9月30日の間に刊行された小説の中から利用者の投票で一番おすすめの本を決定。投票期間中、カウンター前で新刊の小説と投票対象本のリストを設置。投票結果は館内・ホームページで投票数が多かった作品を発表。

投票期間：10月23日（月）～11月27日（月）

結果発表：12月1日（金）

### ○図書館からの挑戦状

内 容：小説や郷土に関するクイズをカウンター前に設置。全問正解者には職員手作りのオリジナル読書手帳をプレゼント。

期 間：10月23日（月）～11月27日（月）

[好古館]

### ○コーナー展「家康と一柳家－関ヶ原合戦編－」

期 間：9月26日（火）～10月29日（日）

内 容：NHK大河ドラマ「どうする家康」の放送に合わせ、関ヶ原合

戦を通して家康と小野藩主の先祖一柳直盛の関係を紹介。  
会 場：小野市立好古館 常設展示室 1 内

- 特別展「お堂の道具あれこれー小野市文化財悉皆調査速報展 2 ー」  
期 間：10月7日(土)～12月3日(日)  
内 容：令和3、4年度に実施した文化財悉皆調査で調査したお堂や寺院に残る仏具や使用していたさまざまな道具約25点を紹介。  
会 場：小野市立好古館 2階展示室

[コミセン]

- きすみの祭(来住地区地域づくり協議会)  
日 時：10月28日(土) 9:00～17:00  
29日(日) 9:30～12:30  
場 所：コミセンきすみの
- いちばふれあいの祭典(市場地区地域づくり協議会)  
日 時：10月21日(土) 9:30～17:00  
22日(日) 9:30～14:00 ※作品展示のみ  
場 所：コミセンいちば
- 大部地区ふれあいのつどい(大部地区地域づくり協議会)  
日 時：11月4日(土) 9:00～15:00  
5日(日) 9:00～14:00 ※作品展示のみ  
場 所：コミセンおおべ
- 第45回下東条地区文化祭(下東条地区地域づくり協議会)  
日 時：11月4日(土) 13:00～17:00 ※作品展示のみ  
5日(日) 9:30～15:30  
場 所：コミセン下東条、下東条体育館、市民研修センター

■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

- Q:スポーツ賞は広報で表彰候補者を募集されていたが、小野市民文化賞や文化奨励賞、優秀賞は、誰がどのように選考しているのか。基準に値しない人や、基準に値しているが選考から漏れてしまっている人はいないか。(教育委員)
- A:同じように広報等で被候補者を募集し、一般の団体からの推薦を受け付けた。また、関係団体にも推薦依頼を出した。推薦された方について、審査会を開催し、審査員が市の審査基準をもとに判断する。項目ごとに点数があり、その点

数に応じて基準点を超えていれば該当、下回っていれば落選という形になる。児童生徒については、今回、優秀賞という形で新しく賞を設けており、全国レベルで良い成績を収められた方について表彰する。(事務局)

---

## ■〔スポーツ振興課関連〕

### ①学校保健体育事業の推進

(進捗状況)

- ・ひまわりカードを用いた第2回「朝食摂取率調査」(1月)の実施に向けて、保護者啓発チラシのデザインを変更。第一回朝食接種率調査の結果をグラフ化して、結果をわかりやすくした。裏面におすすめの朝食メニューや、小中学生を対象に募集したクッキングコンテストの結果も掲載し、それらを併せてみていただくことで、より関心をもってもらえるようにする。

### ②第10回小野ハーフマラソン2023

(進捗状況)

- ・申込者数は、9月25日現在で5,260人であり、大盛況という状況。
- ・9月26日に第2回実行委員会を開催し、役割分担を行った。
- ・9月27日に下東条地区区長会にて、各町・自治会の同意書提出を依頼。
- ・10月5日に市職員にスタッフ派遣依頼をかけて、現在集約中。

### ③スポーツ振興課情報

#### 1 学校保健体育

○第50回小野市小学生陸上競技大会(兼井上記念小野市陸上競技大会)

日 時：10月1日(日)9時00分開会

場 所：小野希望の丘陸上競技場

#### 2 社会体育

○第18回ひまわり杯少年サッカー大会

日 時：10月9日(日)9:00開会

場 所：小野希望の丘陸上競技場(アレオ)

○第47回兵庫県小学生陸上競技大会

日 時：10月15日(日)

場 所：姫路ウイック陸上競技場

○第46回北播5市1町親善ソフトボール大会

日 程：10月22日(日)9:00

場 所：河合運動広場

○第47回小野市フットサル選手権大会

日 時：10月22日（日）10:30

場 所：ゴールドensterおの芝生グラウンド（JR市場前）

○第44回北播地区小学校陸上競技記録会

日 時：10月22日（日）

場 所：三木防災公園陸上競技場

### 3 今後の予定

○就学時健康診断

日 時：11月13日（月）河合小学校・来住小学校

大部小学校・中番小学校

14日（火）小野小学校・市場小学校

15日（水）小野東小学校・下東条小学校

場 所：小野市伝統産業会館

対 象：令和6年度小学校就学予定児

#### ■【説明事項に対する教育委員からの照会及び意見】

Q：おすすめの朝食メニューについて、詳しいレシピがQRコードから簡単にみることができると良いのではないかと。保護者の方に、すぐ見られるしやってみようかな、という気持ちになってもらえたら良いですね。（教育委員）

A：レシピだけでなく、クッキングコンテストの結果もホームページを作成し、QRコードを載せたいと考えている。（事務局）

---

### 5 次回定例教育委員会予定

令和5年11月22日（水）午後1時30分 4階会議室4-1

### 6 閉会あいさつ 教育長